

秋田駒ヶ岳火山防災ステーション

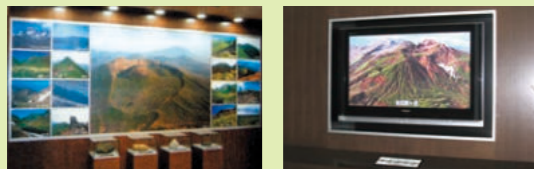
秋田駒ヶ岳火山防災ステーションは、田沢湖高原にある複合施設「アルパこまくさ」内にあり、火山活動など緊急時の活動拠点であり、火山・防災情報の収集・発信基地でもあります。

また、多くの展示パネルやビデオ映像、立体模型などで、秋田駒ヶ岳の火山防災に関する知識を楽しく学ぶことができます。

秋田駒ヶ岳の全てがわかります。



●監視カメラ映像 ●火山情報ターミナル



●秋田駒ヶ岳のすがた ●ビデオ映像



●八幡平山系立体模型 説明時などはガラスケースを外すことができます。

火山活動時の
活動拠点施設

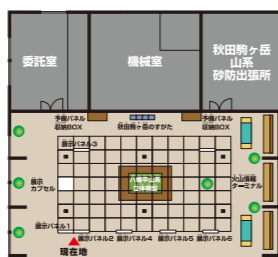
火山情報の
収集や発信基地

火山・土砂災害等の
学習・広報の場

平常時



緊急時



噴火警報発令の場合、平常時の展示空間を現地対策本部として使用します。

※噴火警報… 火山から居住地域の近くまで生命に危険を及ぼす火山活動（噴火）が発生、あるいは発生すると予想される場合、気象庁が発令



アルパこまくさ

「秋田駒ヶ岳火山防災ステーション」「秋田駒ヶ岳情報センター」「自然ふれあい温泉館」がある複合施設で、2006年（平成18年）6月にオープン。

アルパこまくさは秋田駒ヶ岳のマイカー規制の拠点であり、田沢湖高原の中核施設です。



秋田駒ヶ岳山系 砂防出張所

秋田駒ヶ岳火山防災ステーションの一部として2009年（平成21年）に新設。砂防事業の迅速・円滑な推進を図っていきます。



国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

〒012-0862 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2
TEL 0183-73-3174 FAX 0183-73-3179
ホームページ <https://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

↓QRコードはこちら↓



湯沢河川国道事務所 秋田駒ヶ岳山系砂防出張所

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-16
TEL 0187-46-2681 FAX 0187-46-2683
ホームページ https://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/21_komagatake/

↓QRコードはこちら↓



地域に潤いと安心を



八幡平山系直轄火山砂防事業

秋田駒ヶ岳

国土交通省 東北地方整備局
湯沢河川国道事務所

秋田駒ヶ岳は 生きている



1970年(昭和45年)の噴火



駒ヶ岳溶岩流 (1970年)



駒ヶ岳溶岩流跡



駒ヶ岳の噴火 (1970年)

秋田駒ヶ岳の主な噴火

1932年(昭和7年)7月21日～26日

女岳の南西～北東に噴火による9～11個の火口ができました。最大のもは直径100mもあり、火山灰は9km離れた雫石町まで降りました。その後、雨による二次泥流が発生し、はんらん区域は150ha(深さ60cm)にもなりました。

1970年(昭和45年)9月18日

8月29日、女岳山頂部の古い火口跡で3～4個の噴気孔を発見。一度は活動がおさまりましたが、9月18日に噴火が起こり、溶岩、火山弾を放出しました。最盛時には約2分間隔で噴火を繰り返し、女岳の西側の斜面に長さ約530mの溶岩が流れ出しました。その後、噴火活動は1971年まで続きました。

1932年はこんな時代.....

- 7月 1日 中央気象台臨時富士山頂観測所が業務を開始
- 7月30日 ロサンゼルスオリンピック(～8月14日)

1970年はこんな時代.....

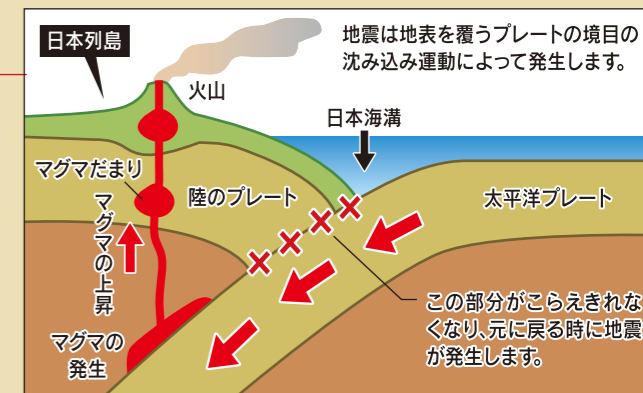
- 3月14日 日本万国博覧会(大阪万博)(～9月13日)
- 4月10日 ビートルズ解散
- 4月11日 アポロ13号打ち上げ

なぜ火山は噴火するの!?

太平洋プレートの沈み込みにより岩石が溶け出し、マグマが発生して上昇していきます。マグマが上昇していき浮力を失うと、ある深さで止まり、集まります。ここがマグマだまりです。マグマだまりからさらに上昇していくと、周囲の岩盤が圧力に耐えられず破壊され、地表から溶岩や火山灰が噴出されます。

日本の活火山

日本には狭い国土に111もの活火山があり、中でも北海道から東北・関東地方にかけて、及び九州地方に密集しています。活火山の活動状況は気象庁が他機関の協力を得ながら地震計等を使い監視しています。



世界の活火山

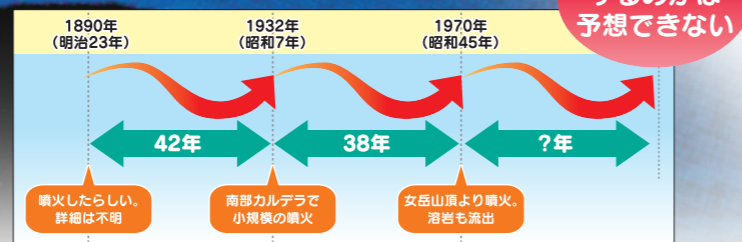
全世界には約1500の活火山があります。ハワイのキラウエア火山、フィリピンのピナツボ火山、コロンビアのネバドールルイス火山が有名です。

もし秋田駒ヶ岳が 大きな噴火をしたら…

秋田駒ヶ岳は、これまでに何回も噴火を繰り返し大きく形成してきた火山。過去の噴火で流し出されたマグマや吹き出された火山灰などが固まって山の形ができました。

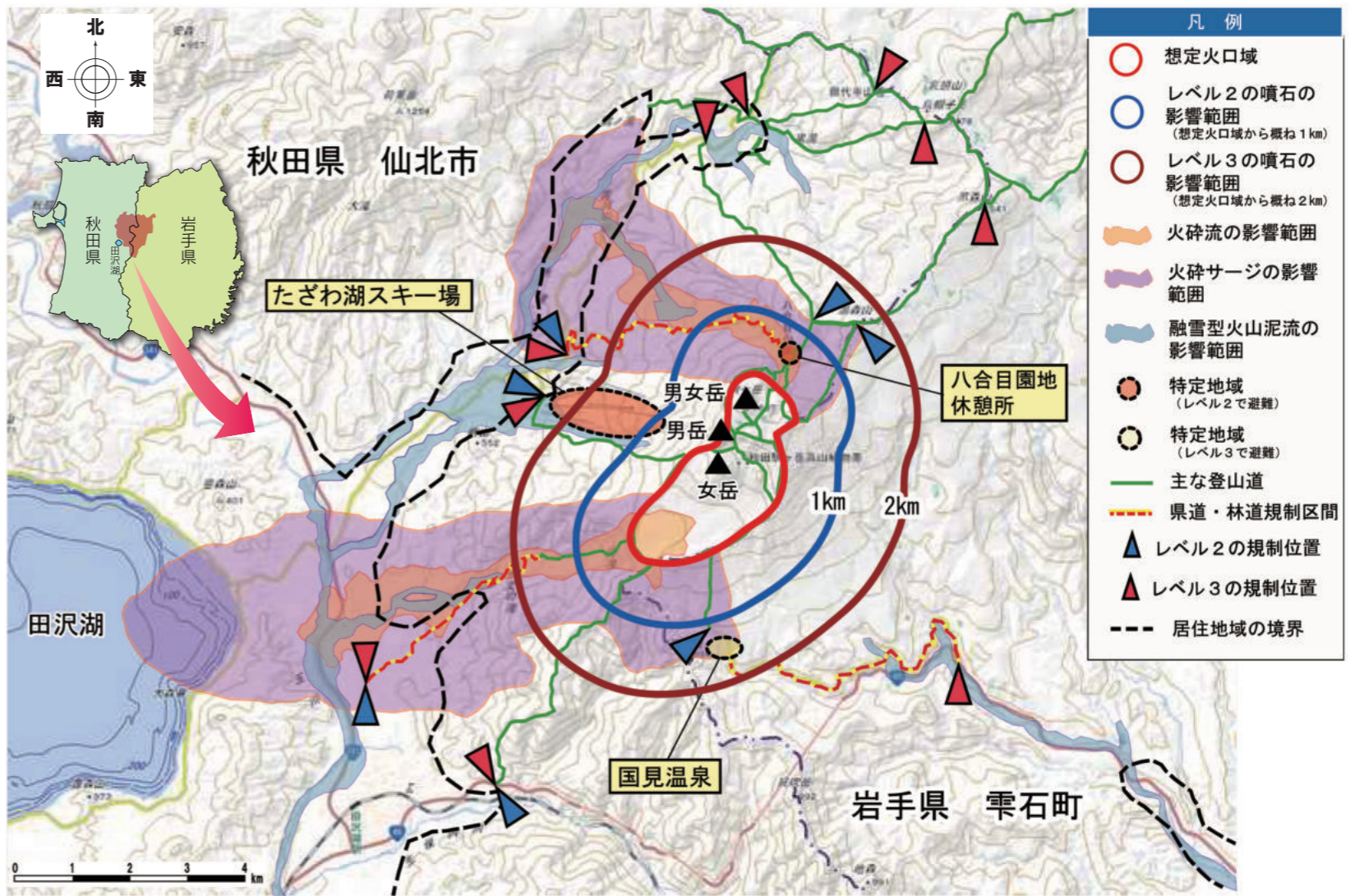
今でも地下深くにマグマがあるため、噴火する可能性を秘めた活火山。噴火の場所や規模によって被害の大きさは変わりますが、目安として想定の影響範囲を示した「火山防災マップ」を作成しています。

近年は大体40年周期での噴火がありました



いつ噴火するのかわからない

秋田駒ヶ岳 噴火の影響が及ぶ可能性のある範囲と規制位置



この図は、国土地理院「地理院地図」を使用して作成しています。

■この図は「秋田駒ヶ岳ハザードマップ」(令和5年3月)に基づき作成しています。

■秋田駒ヶ岳の噴火警戒レベルは、秋田駒ヶ岳火山防災協議会において協議、作成されました。各レベルにおける具体的な規制範囲等については、地域防災計画等で定められていますので、詳細については仙北市、雫石町にお問い合わせください。

■図中の特定地域とは、居住地域よりも秋田駒ヶ岳の想定火口域に近い所に位置する集客施設が含まれる地域を指します。居住地域より早期に避難等の対応が必要になることがあります。

気象庁の記者発表資料から引用

火山の噴火現象

噴火による災害はいろいろあります。火山から遠く離れていても注意が必要です。



溶岩流



どろどろの溶岩(マグマ)が火口からあふれて流れ出したものです。普通は、速度が遅く、走って逃げることができる速度です。溶岩流の通過した場所は全て焼き尽くされ埋められます。

噴石・火山弾



噴火により高温の岩石が火口から放出されます。破壊力が大きく火口付近の建物などは容易に破壊されます。時には直径1m以上の岩塊が飛んでくることもあるので、噴火時には火口の近くに近寄ると大変危険です。

土石流・融雪型火山泥流



土石流は、火山灰が斜面に堆積して水が地面にしみ込みにくい時に雨が降った場合、雨水が一気に川に集まり発生します。融雪型火山泥流は、火砕流や放出された噴石や火砕流の熱により、斜面の雪が融けて発生します。

火砕流



高温の火山灰や岩塊、火山ガスなどが混じり合い斜面を高速(時速数十km)で流れ下ります。高温のガス(火砕サージ)は本体部より遠くまで達し大きな被害をもたらす極めて危険な現象です。

火山灰(降灰)



噴火によって火口から放出されます。火山灰は細かいため風に流されて風下側に多く降り積もります。通常は南西風が多いため主に東側に積もると予想されますが、天候や時期によって風向きが異なるため注意が必要です。

その他の現象

下に示すような現象が起きることがありますので注意して下さい。

地震

噴火の前後に大きな地震が起きることもあります。また、地震によって地面が大きく変形したり(地殻変動)することもあります。

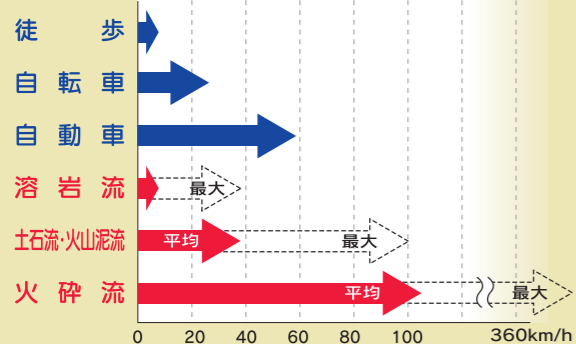
火山ガス

火口から有毒な火山ガスが放出されることがあります。低い場所に溜まりやすいので噴火時にはカルデラ内に入ってはいけません。

山体崩壊

極めて稀ですが、地震や噴火が引き金になり山が大きく崩壊することがあります。

時速の比較



噴火と土石流に備えて ~湯沢河川国道事務所の取組み~

秋田駒ヶ岳は、現在は穏やかな状態にあり、火山の恵みである美しい景色や温泉、スキーなどのスポーツを楽しむため多くの人々がこの山を訪れます。

しかし、もし火山活動が活発化し噴火が始まると大災害へとつながる可能性もあり、湯沢河川国道事務所では普段から秋田駒ヶ岳の状況について、監視カメラや観測機器を設置し、監視・観測を行っています。

さらにその情報を自治体に伝達、提供することで、下流域に暮らす多くの人命・財産を守っています。

秋田駒ヶ岳カメラ映像

ホームページでは、リアルタイムで駒ヶ岳の様子をご覧になれます。

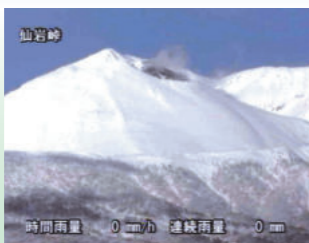
湯沢河川国道事務所 検索
↓
砂防ライブカメラ



駒ヶ岳八合目



熊ノ台



仙岩峠

土石流を防ぐために

溶岩が固まった岩石や火山灰でできたがけは、風雨によって少しずつ削られ、その土砂が谷に集まります。そこに大雨が降ると…土石流となってふもとまで流れ下ってしまいます。

砂防堰堤がないと



土石流は谷から平野に出た所で広がり、被害を大きくします。

砂防堰堤があると



砂防堰堤で土石流を受け止め、その勢いを弱めます。

災害から身を守るため ~様々な知識を身に付けよう~

我が家の持ち出しリスト 常日頃より準備しておき、背負いやすいリュックサックにまとめておきましょう。

<input type="checkbox"/> 水・非常食など	水は1日一人3ℓが目安。乾パン、缶詰、レトルト食品、乾燥食品(水を注ぐだけでOK)、あめ、チョコレートなど。紙皿・紙コップ・フォークなども。
<input type="checkbox"/> 衣類など	長袖上着、シャツ、ズボン、下着、靴下、軍手、毛布、タオル、ゴーグル(火山灰よけ)、マスク
<input type="checkbox"/> 照明	懐中電灯(予備電池も忘れずに)
<input type="checkbox"/> 小型ラジオ	正しい情報を得るためには必需品。(予備電池も忘れずに)
<input type="checkbox"/> 救急用品	絆創膏、消毒薬、包帯、ガーゼ、整腸剤、風邪薬、ハサミ、綿棒など。
<input type="checkbox"/> 貴重品	現金・小銭、預金通帳・印鑑、免許証、健康保険証、友人や親戚などの電話番号帳など。
<input type="checkbox"/> その他	ヘルメット、かさ、カッパ、ろうそく、ライター、時計、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、筆記用具、携帯電話など。

必要に応じて準備しましょう。

- ほ乳ビン、ミルク、おむつ
- 常備薬、
- 生理用品
- 携帯カイロなど



前兆現象

いつもと違う変化に注意しましょう。

- 地震が増える
- 温泉の温度が急に上がる
- 山が鳴る
- 温泉の温度が急に上がる

噴火

山の異常を発見したら…

秋田地方気象台
TEL.018-823-8291

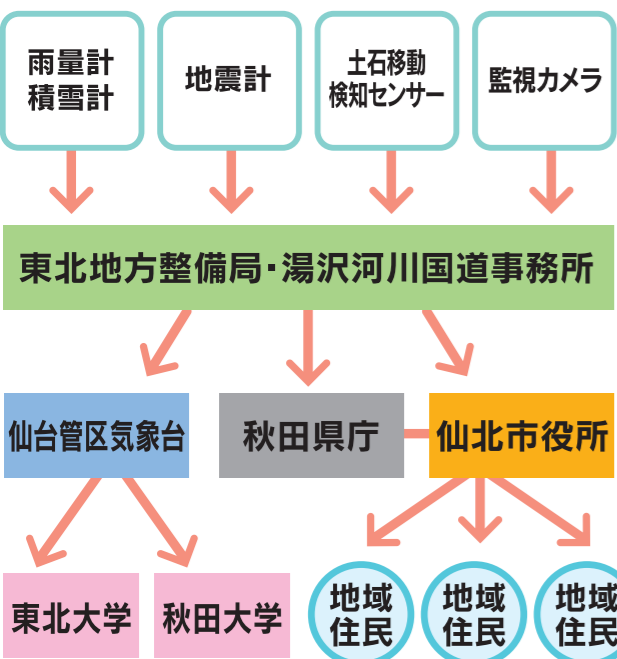
土石流

普段から家族で避難場所や避難経路を決めておきましょう。

- 「山鳴り」といって、山全体がうなっているような音がする時
- 川の流が急ににごったり、水と一緒に木が流れて来た時
- 雨が降り続けているのに、川の水が減っている時

秋田駒ヶ岳の監視機器の整備を行い、各自治体と連携を図りながら、総合的な土砂災害対策を推進しています。

■火山及び土石流監視システム情報ネットワーク



雨量計

降雨による土石流災害の発生監視を目的に設置します。



地震計

火山活動の前兆現象(火山性微動)を把握します。



火山監視用カメラ

火山活動の情報把握や土砂移動現象を監視します。



積雪計

融雪型火山泥流及び融雪型土砂災害の基礎データを取得します。



土砂移動検知センサー

融雪型火山泥流及び融雪型土砂災害・降灰後、降雨による土石流の発生状況を監視します。

おしらせ

※2009年(平成21年)10月27日に秋田駒ヶ岳に噴火警戒レベルが導入されて以降噴火警戒レベル1(活火山であることに留意)が継続されています。

※噴火警戒レベルとは…火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民等の「とるべき防災対応」を5段階に区分して気象庁が発表する指標です。(右図参照)
最新の噴火警戒レベルについては気象庁HPでも確認することができます。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/keikailevel.html>

噴火による影響とは、噴石、火砕流、融雪型火山泥流により、現象が始まってから避難までの時間的な余裕がほとんどなく生命に対する危険性が高い火山現象による影響です。

※噴石、火砕流、融雪型火山泥流で、避難道路などが通行不能となる恐れがある区域では、早期避難が必要です。

秋田駒ヶ岳の噴火警戒レベル

2009年10月27日運用開始
2023年3月24日改定

種別	名称	対象範囲	レベル(5段階)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警戒	噴火警報(居住地域)又は噴火警報	居住地域及びそれより火山口側	5(避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が居住地域まで到達、あるいは切迫している。 過去事例 有史以降の事例なし
			4(高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者及び特定地域の避難準備が必要。危険な地域への立入規制等。	●火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が居住地域まで到達するよう噴火の発生が予想される。 過去事例 有史以降の事例なし
警戒	噴火警報(火山口周辺)又は火山口周辺警戒	火山口から居住地域近くまで	3(入山規制)	居住地域の近くまで重大な被害を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。危険な地域への立入規制等。	●想定火山口域から概ね2km以内に大きな噴石の飛散するよう噴火の発生、またはその可能性。 ●想定火山口域から居住地域近くまで火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が流下するよう噴火の発生、またはその可能性。 過去事例 1970年女岳からの噴火
			2(火山口周辺規制)	火山口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火山口周辺への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難準備が必要。	●想定火山口域から概ね1km以内に大きな噴石の飛散するよう噴火の発生またはその可能性。 過去事例 1932年南部カルデラ内(石ボラ)での水蒸気爆発
予報	噴火予報	火山口内等	1(活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火山口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火山口内への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難準備が必要。	●火山活動は静穏。 ●状況により想定火山口域内に影響する程度の噴出の可能性あり。